

眼感染症網羅的 PCR 検査受託検査の御案内

眼感染症の原因は、ウイルス、真菌、細菌、寄生虫、原虫など多岐にわたり、急激に進行し失明に至ります。臨床所見や従来の鏡検・培養のみでは診断が困難なことが多く、PCR 診断が有用ですが、従来の外注 PCR 検査では検体量が多く必要とされ、前房水などの眼科微量検体からは検査できる項目もわずかでした。

大分大学が共同開発している「網羅的 PCR 法」は微量検体から多項目を検査でき、眼感染症のみならず、日和見感染症、肝炎、呼吸器感染症などでも役立っています。

眼感染症、日和見感染症に対する網羅的 PCR 検査の一部は先進医療に認定されていますが、適応が厳しく施行施設も限られています。今回、地域医療への貢献を目的として、網羅的 PCR の受託検査を開始しました。(先進医療とは内容が異なります)



真菌性角膜潰瘍・角膜穿孔



急性網膜壊死(帯状疱疹ウイルス)



梅毒性ぶどう膜炎



ヘルペス属： 単純ヘルペス 1 型 ・ 2 型 ・ 帯状疱疹ウイルス ・ EB ウイルス
サイトメガロウイルス ・ HHV6 ・ 7 ・ 8 型
真菌： カンジダ ・ アスペルギルス ・ フザリウム
その他： HTLV-1 ・ クラミジア ・ トキソプラズマ ・ アカントアメーバ
梅毒 ・ 結核 ・ アクネ菌

検査費用： 14,254 円／上記全てを網羅検査できるキットを使用

支払い： 受託申込後に大分大学から口座振込の御案内を送付します(病院支払)
(放射線画像読影や病理スライド診断の受託検査と同様の方法です)

連絡先： 大分大学眼科 担当:中野 sanakano@oita-u.ac.jp 097-586-5904